

## 京都文化カプロジェクト 2016-2020 平成 29 年度事業計画（案）

「京都文化カプロジェクト実行委員会」では、平成 28 年 10 月に、“創造する文化 京都から世界へ”をコンセプトメッセージに「京都文化カプロジェクト 2016-2020 実施計画（総論）」を策定した。

実施計画（総論）では、2020 年に向けて京都に世界中の視線を集めるよう、多様な主体によって開催される文化芸術イベントとの連携を図るとともに、実行委員会として、以下のリーディング事業を実施することとしている。

- ・2017 年度 パフォーミングアーツ（舞台芸術）
- ・2018 年度 アーツ&クラフツ（美術・工芸）
- ・2019 年度 暮らしの文化
- ・2020 年度 あらゆる分野を融合した総合的な祭典

そこで、実施計画（総論）に基づき、平成 29 年度は次の事業を実施する。

また、事業の推進に当たっては、文化庁の京都への移転を踏まえて、文化庁地域文化創生本部との連携を図る。

### 【リーディング事業】パフォーミングアーツ（舞台芸術）

#### ■ 京都における東京キャラバンの開催

実施計画（総論）では、平成 29 年度に舞台芸術の分野で 2020 年に向けた祝祭感あふれる事業を実施することとしており、具体的に東京キャラバンの開催を検討することを掲げている。このため、京都の文化資源を生かした京都ならではの東京キャラバンの開催に向けて、東京都等と検討を進める。

時期：平成 29 年中

場所：京都市内及び京都府域

主催：当実行委員会、東京都、アーツカウンシル東京

備考：東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の公認文化プログラムに認証見込み

### 【その他の事業】

#### ■ アーツ&クラフツ（美術・工芸）等

内容：平成 30 年度以降のリーディング事業の実施に向けた準備作業を行う。

時期：随時

■ 海外情報発信イベント

内容：東アジア文化都市2017京都の開催に合わせ、日中韓文化交流事業等において、国内外に向けた京都文化の魅力を発信するイベントを開催し、京都文化カプロジェクト及び2020年に開催するあらゆる分野を融合した総合的な祭典の周知を行う。

時期：平成29年秋

場所：京都市内

■ ワークショップ

内容：京都文化カプロジェクトの機運醸成を図るとともに、平成30年度以降のリーディング事業に向けた準備のスタートとなるワークショップを開催する。

時期：平成29年夏～平成30年冬

場所：京都府域

■ 4年間継続事業

内容：4年間継続的に事業を進め、2020年にその成果を披露するような成長型の事業として、2020年以降にも京都文化カプロジェクトのレガシーとして残る、新しいモノやコトの創作活動を計画する。

時期：平成29年5月～団体等を公募し、選定のうえ事業開始

■ 大学生を主体としたポスターコンテスト

内容：京都府内の大学生を対象に、京都文化カプロジェクトをイメージしたポスターデザインを公募する。最優秀賞作品は、事業周知ポスターなどの広報物等に採用するとともに、今後、学生自らが文化の担い手になるよう、本プロジェクトにおいて活動の場を設けていく。

時期：平成29年5月～10月頃

【ベース事業】

■ 推進フォーラム

内容：2020年に向けて、京都文化カプロジェクトの取組や事業を幅広く周知浸透させるとともに、京都から文化・芸術を世界に発信するフォーラムを開催する。

時期：平成30年2～3月頃

場所：京都市内

■ ポータルサイト

内容：専用 WEB サイトで、取組状況、事業実施報告などを多言語（日英中韓、自動翻訳）で発信する。

時期：随時更新

■ 機関誌（第 2 号）

内容：長年京都の文化を支えてきた文化人のインタビューを中心に、2020 年に向けた提言や取組状況のアーカイブ、京都の文化情報などを掲載する機関誌を発行する。

体裁：A4 判 24 ページ 5000 部（予定）

時期：平成 30 年 3 月頃（年 1 回）

■ 理事会等の開催／実施計画の改訂

内容：理事会、企画運営委員会を開催するとともに、計画を適宜改訂する。

時期：理事会 平成 30 年 3 月頃（年 1 回）

企画運営委員会（及び部会） 随時（年 2 回程度）

■ 認証事業

内容：国の beyond2020 プログラムについて、関係団体等が行う主催事業を認証する。また、（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が行う東京 2020 文化オリンピックアードの応援プログラムの認証についても、要件を満たしたプログラムについて実行委員会等により認証申請の助言を各団体に行う。

認証を受けたプログラムは、本実行委員会ホームページ等で情報発信を支援する。

■ 会員組織

内容：京都文化カプロジェクトの趣旨に賛同する団体・企業等を会員募集する。

時期：平成 29 年 4 月頃～

## 東京キャラバンについて

### 1 東京キャラバンとは

○東京都とアーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）が2020年東京大会に向けて展開する文化プログラムの一つ。日本を代表する劇作家・演出家・役者である野田秀樹氏の発案により、多種多様なアーティストが出会い「文化混流」することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた新たな文化発信事業。現地の文化資源を活かした多様性あふれるパフォーマンスを特徴とし、今後国内各地に出現し「文化サーカス」を繰り広げていく。

○平成27年10月、駒沢オリンピック公園で初めて開催。平成28年8月には、オリンピック開催に合わせ、リオデジャネイロで現地アーティストとワークショップを行った。その後9月、被災地である宮城、福島において、多彩なアーティストが現地のミュージシャンや伝統芸能の担い手、吹奏楽部の子どもたち等と一緒にワークショップを行った。同年10月、東京・六本木において、オリンピック・パラリンピック等に向けたキックオフイベント「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」の関連プログラムとして、これまでのワークショップの総仕上げに、これらを融合させた多様性あふれるパフォーマンスを披露した。

○今後、平成29年度から3箇年で日本国内を巡り、2020年に東京で集大成を迎える予定。

## 2 過去の開催状況

事業（場所）	開催日	内容
ワークショップ・ ショーケース （駒沢オリンピック公園）	平成 27 年 10 月 8 日～10 日 	野田秀樹氏（演出家）、日比野克彦氏（現代美術家）、名和晃平氏（彫刻家）の呼びかけにより 32 組のアーティストが参加。「文化とは交通である。」をテーマに 6 つのワークショップを行い、現代アート、音楽、ファッションから伝統文化、能楽のコラボレーションを披露。 （動員 1 2 0 0 名）
ワークショップ （リオデジャネイロ 文化施設 パソ・インペリアル）	平成 28 年 8 月 18 日～21 日 	東京スカパラダイスオーケストラやブラジルで活躍するアーティストらが集い、ワークショップを行い、新たな表現を創作した。
ワークショップ （宮城県仙台市立 沖野東小学校、 福島県相馬市 音屋ホール）	平成 28 年 9 月 3 日～4 日 17 日～18 日 	東京スカパラダイスオーケストラや女優松たか子らが地元の小学生吹奏楽部や地元の伝統芸能やお祭りの担い手と新たな表現を創作するワークショップを実施。
公演 （六本木ヒルズアリーナ）	平成 28 年 10 月 21 日～22 日 	リオデジャネイロ、東北でのワークショップを踏まえ、六本木アートナイトの一環として上演。東京スカパラダイスオーケストラ、女優宮沢りえ、リオ、東北のアーティスト多数参加。